

ありがとうの灯 中

学校便り第8号

令和6年11月12日

福井市灯明寺中学校



「Are you happy now?」と質問されたとき、あなたはどうか答えますか？おそらく「Yes」と即答する人は少ないのでは。。。と推察します。今年の世界幸福度調査によると、日本は51位でG7（Group of Seven の略：先進7カ国首脳会議諸国のこと）では最下位とのこと。一体どういう調査をいつ行って、こうした結果が出ているのかは疑問ですが、最近日本で起きるニュースを見る限り、「確かに、幸せな国とは言えなくなったな。。。」「と感じてしまいます。毎日のように、多くの若者が『ダメなこと』と分かっているが闇バイトなどに手を染め、人の尊い命やその方が大切にしている金品を奪うことが続いています。本当に心が痛みますし、残念です。

そんな折り、先月10月9日（水）の午後に、本校PTAの皆様が主催となり、親子道徳の一環として教育講演会を行っていただきました。講師としてアラスカ自然写真家松本紀生氏をお招きし、フォトライブショーを全校で拝見しました。松本氏が撮影した写真はどれもが純粋で美しく、そして、偉大でした。満点の星空と幻想的なオーロラの写真、極北の大地の中で生きる動植物の自然な姿、約十萬頭のカリブーの大群の姿、鯨たちのバブルネットフィーディングの様子、オオカミたちとの会話の様子などなど、すべての映像の中に、自然の真の姿があり、『尊厳』と『敬意』、そして私たちがこの地球という星で『生きる意味』を示しているように感じました。松本氏の写真たちは、私たちの心を「生まれたときの純粋無垢の姿」へと導いてくれました。

生徒の感想にも、「今日見た写真や動画は、自分にとっては想像できない非現実的なことで、新しい発見ばかりでした。同じ地球でも日本ではありえないことがたくさん行われていて、改めて自然が与える力の大きさを知ることができました。自分の知らない地球の姿を知ることができ、とても貴重な時間でした」、「松本先生のお話の中で特に印象に残っているのは、『結果よりも過程を大事にしている』という言葉です。自分の生活を振り返ると、結果を重視してしまうことが多いなと思いました。結果がどうであれ、それまでの過程がしっかりしている方が自分にとって成長や学びがあると気付かされました。自分の人生はいいものだったと胸を張れる生き方をしたいと思いました」、「自分は苦手なことや苦戦することからいつも逃げていました。でも松本先生



の『アラスカの冬は楽しくなく、苦戦することは多いけど、やりがいはある』と聞いて、自分もやりがいを見つけたいと思いました。また、動物は人間を襲うと思っていましたが、そんなことはなく、私たち人間の方が動物たちの命を大事にしなきゃと思いました。」皆さんの学びに感動です！ 福井市灯明寺中学校長 佐藤 勉（Big Ben）

<吹奏楽部が河合&明新地区で訪問演奏♪>

10月20日&27日（日）に本校の吹奏楽部が河合地区と明新地区のお祭りで訪問演奏を行いました。3年生が引退して、1・2年生による新体制での演奏でした。やはり「人は場で育つ」ように、どんどんと上達する姿が見られ、目頭が熱くなりました。『絆プロジェクト』に心から感謝です！



<2年生が職場体験！>



10月24日（木）&25日（金）の2日間、2年生は職場体験に出かけました。コロナ禍の間中断されていた活動でしたが、約70の事業の皆様が快く受入をしてくださいました。どの事業所でも、「働く意義」や「仕事の喜びは、お客様から『ありがとう』を頂けること」など、座学では決して学べない、貴重なことを体感として学ぶことができたようです。